

## 支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和2年9月23日

地区名	桜新町区
事業名	ごみ集積所の改良事業（環境美化事業）
団体名及び 代表者名	（団体名）桜新町自治会（桜新町区） （代表者名）会長 古川 晴雄

## ■事業概要

<p>町内12か所の可燃ごみ集積所のうち露天の箇所が11か所に上る。11か所の可燃ごみ集積所は市道上の一部や用水上の上にある。理由は市道上や用水上に構造物を置くことができないためである。そこでやむを得ずカラスネットによる可燃ごみ集積所を設置して、露天のまま今まで運用してきた。露天であるがゆえにカラスによる被害が絶えず、衛生環境の悪化及び環境美化の維持に悩まされ続けてきた。</p> <p>悪臭の発生、残飯及び食品容器の散乱など（このためハエなどが群がる）を何としても改善したいとの思いから、今回11か所の露天の可燃ごみ集積場のうち、試験的に2か所の露天の可燃ごみ集積所にダストボックスを設置する。成果が上がれば他の可燃ごみ集積所への設置を促進していくことにしている。</p>	【総事業費】	86,900円
	【補助金額】	86,000円

## 【活動写真】



※資料等ある場合は添付する。

## ■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

第一にはカラスによる被害が発生しなくなったことである。これにより市道上や用水上に設置されている可燃ごみ集積所には、カラスが食い散らかしたと思われる残飯等のゴミが全くなかった。このダストボックスの設置により、町内全体のゴミ問題に対する機運が醸成できたことが大きい。用水上に設置したダストボックスは容積が小さいため、各世帯でのごみの減量に取り組むことが期待される。当面の間はカラスネットとの共有（全面的な設置は予算上無理があり）で、地域の衛生環境の向上、環境美化の維持に努めていくことにする。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施		○		
事業の効果		○		
特記事項 （評価理由等）	新型コロナウイルス下で生産が遅れ、当初予定していた8月中の納入ができなかったことは想定外であった。このため、使用にあたり地域住民に対する説明会の日程も延期せざるを得なかった。			

■今後の取組予定

今回のダストボックスの試験的な導入により、町内ではごみ問題やごみ集積所に関する関心が高まっている。抜本的な解決に至らないまでも、このような課題に対し自治会長（区長）の立場から町内の協議機関に対し諮問を行い、答申を出していただくようお願いをさせていただいた。また、数々の機会をとらえ、各世帯でごみの減量に取り組んでいただくよう広報活動も続けていくことにしている。2か所の成果についてはもう少し様子を見て判断し、他の可燃ごみ集積所（9か所）への設置促進を考えていくことにしている。

また、町内では今年度に入りごみの不法投棄が5件も発生している。このことに対する住民の反応も早く、衛生環境の改善や環境美化の維持に機運が高まっている。この機会を活かし、地域生活環境の維持への取り組みをさらに前進させたいと思う。



ダストボックスの中へ可燃ごみを入れた状態



ダストボックス内へは横置きに入れると収容がきちんと行えます

